

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.60, 2015.12 : 13-17
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5667
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

学校法人聖学院理事長兼院長。聖学院大学教授。聖学院大学総合研究所副所長・所長代行。1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほかに学ぶ。その傍ら聖学院大学および聖学院アトランタ国際学校開設業務を担当。その後、聖学院大学宗教主任兼助教授、聖学院大学学長を経て現職。その他、日本聖書協会新翻訳事業検討委員、荒川区不正防止委員会委員長など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著)、『神を仰ぎ、人に仕う』(共著)、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』(共著)、*The Church Embracing the Sufferers, Moving Forward: Centurial Vision for Post-disaster Japan: Ecumenical Voices* (共著)、『専制と偏狭を永遠に除去するために——主権者であるあなたへ』ほか多数。

片柳 榮一 かたやなぎ・えいいち

1944年生まれ。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科教授、京都大学名誉教授。文学博士(京都大学)。

〔著書〕『初期アウグスティヌス哲学の生成』(創文社、1995年)、「時間空間論の展開」新岩波講座『哲学』第7巻、(岩波書店、1994年)、『ディアロゴス——手探りの中の対話』(編著、晃洋書房、2007年)。

〔訳書〕ティリッヒ『出会い』(共訳、白水社、1978年)、アウグスティヌス『創世記逐語注解』アウグスティヌス著作集(教文館、1994-1999年)、M・ヴェルカー『聖霊の神学』(共訳、教文館、2007年)、F・W・グラーフ編『テルトゥリアヌスからカルヴンまで』(監訳、教文館、2014年)など。

高橋 愛子 たかはし・あいこ

国際基督教大学行政学研究科博士課程単位取得退学。学術博士(2003、国際基督教大学)。恵泉女学園大学非常勤講師を経て、2004年4月より聖学院大学政治経済学部政治経済学科助教授、現在、同学科教授。

〔著書〕初宿正典・古賀敬太編『カール・シュミットとその時代』（共著，風行社，1997），姜尚中・齋藤純一編『逆光の政治哲学』（共著，法律文化社，近刊予定）。

〔訳書〕H・クヴァーリチュ編『カール・シュミットの遺産』（共訳，風行社，1993），古賀敬太・佐野誠編『カール・シュミット時事論文集』（共訳，風行社，2000），C・ムフ編『カール・シュミットの挑戦』（共訳，風行社，2006），J・タミール『リベラルなナショナリズムとは』（共訳，夏目書房，2006）。

〔論文〕「『国家理性』再考」『社会科学ジャーナル』No.48（ICU-SSRI，2002），「『シュミット問題』が投げかけるもの」『社会科学ジャーナル』No.53（ICU-SSRI，2004），「〈合法性〉をめぐる二つの次元——法と政治の間についての一試論」『聖学院大学総合研究所紀要』No.39（聖学院大学総合研究所，2007），「〈合法性〉と〈状況適合的擬似合法性〉の間——「パーペン・クーデター」事件から「国事裁判」へ」『聖学院大学総合研究所紀要』No.47（聖学院大学総合研究所，2010）他。

窪寺 俊之 くぼてら・としゆき

1939年生まれ。埼玉大学卒業（教育学部），東京都立大学大学院（臨床心理学）に学ぶ。米国エモリー大学神学部卒（神学），コロンビア神学大学院卒（牧会学）。博士（人間科学，大阪大学）。米国，リッチモンド記念病院（ヴァージニア州）と淀川キリスト病院（大阪市）でチャプレン（病院付牧師）。イーストベイ・フリーメソジスト教会牧師（米国，サンフランシスコ市）。関西学院大学神学部教授を経て，聖学院大学人間福祉学部教授（こども心理学科長），聖学院大学大学院教授。日本臨床死生学会常任理事，スピリチュアルケア学会常任理事，日本神学会会員，日本福音主義神学会会員，日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団評議員。

〔著書〕『スピリチュアルケア入門』，『スピリチュアルケア学序説』，『スピリチュアルケア学概説』，『スピリチュアルケアを語る』（共著），『続・スピリチュアルケアを語る』（共著），『緩和医療学』（共著），『死生論』（共著），『系統看護学講座 別巻10 ターミナルケア』（共著），『癒やしを求める魂の渇き』（編著），『スピリチュアルペインに向き合う』（編著），『スピリチュアルコミュニケーション』（編著），『スピリチュアルケアの実現に向けて』（編著），『愛に基づくスピリチュアルケア』（編著），『希望を支える臨床生死観』（編著）ほか。

〔訳書〕シャロン・フィッシュ，ジュディス・シェリー『看護の中の宗教的ケア』（共訳），D・D・ウィリアムズ『魂への配慮』，モーリス・ワイルズ『神学とは何か』，ケネス・デール『キリスト教カウンセリングの方法と実際』，ルース・L・コップ『愛する人が死にゆくとき』（共訳），ほか。

〔論文〕「死に逝く人のスピリチュアリティ覚醒の研究」（『人間科学研究』第5号），「スピリチュアルペインの構造から考えるケア——スピリチュアルペインの本質とケアの方法」（『緩和ケア』第15巻第5号），「スピリチュアルケアへの宗教の貢献」（『宗教研究』第84巻）。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部Master of Theological Studies修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（Ph. D.）。現在、聖学院大学大学院客員教授。

〔著書〕*Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (University Press of America). 『「キリスト教養育」と日本のキリスト教』(教文館), 『ブッシュネル「キリスト教養育」の成立過程研究』(日本キリスト教団出版局), 『人間の生と教育』(創言社) ほか。

〔訳書〕ホーレス・ブッシュネル『キリスト教養育』(教文館), 『理想の大学』(創言社) ほか。

〔論文〕“Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. 「ホーレス・ブッシュネル研究——『キリスト教養育』をめぐる——」(教授資格論文) ほか。

菊地 順 きくち・じゅん

1955年生まれ。東北大学文学部卒業, 同大学院文学研究科博士課程後期中退, 東京神学大学大学院(修士)修了, 米国エモリー大学大学院(Th. M)修了。1992年, 聖学院大学専任講師に就任, その後助教を経て, 現在政治経済学部教授。また就任と同時にチャプレンを兼ねる。

〔著書〕『信仰から信仰へ』(日本伝道出版), 『とこしなえのもの』(日本伝道出版), ほか。

村上 純子 むらかみ・じゅんこ

慶應義塾大学文学部人間関係学科心理学専攻卒。アメリカ, ホイートン大学大学院臨床心理学科修士課程修了, 聖学院大学アメリカ・ヨーロッパ文化学科博士課程修了(学術博士)。北千住旭クリニック, 淀川キリスト教病院精神科などに心理士として勤務。中学校, 高等学校のスクールカウンセラーを務めたのち, 現在, 聖学院大学人間福祉学部こども心理学科准教授。赤坂グリーンケア・ルームにて心理相談も行っている。臨床心理士。

〔著書〕『子育てと子どもの問題』キリスト教カウンセリングブックレット16(キリスト新聞社, 2009年), 『牧会相談の実際——カウンセラーと共に考える』(共著, あめんどう, 2014年)。

竹淵 香織 たけぶち・かおり

聖学院大学人間福祉学部こども心理学科准教授, 聖学院大学学生相談室副室長・カウンセラー。自由学園最高学部非常勤講師。臨床心理士, 臨床発達心理士。

〔著書〕『発達障害のある学生支援ケースブック——支援の実際とポイント』(共著, ジアース

教育新社，2007年），『死別の悲しみを学ぶ』臨床死生学研究叢書3（共著，聖学院大学出版会，2011年）など。

〔論文〕「学生相談室利用事例からみる退学者の傾向と支援——退学者減少のための糸口を探る」（『聖学院大学総合研究所紀要』41号，2008年）など。

五十嵐 成見 いからし・なるみ

1980年生まれ。青山学院大学文学部英米文学科卒。東京神学大学神学部および東京神学大学大学院神学部修士課程修了（組織神学）。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士課程在籍。日本キリスト教団阿佐ヶ谷教会伝道師・副牧師の後，現在，日本キリスト教団花小金井教会牧師。社会福祉法人しおん学園評議員および滝山しおん保育園チャプレン。元青山学院高等部聖書科非常勤講師。

〔著書〕『主イエスを愛し続けて』（共著，説教熟紀要別冊説教集，教文館，2014年）。

〔論文〕「ラインホルド・ニーバーの神話・象徴論——歴史と超歴史の弁証法的次元の表現」（『聖学院大学総合研究所紀要』No.58，聖学院大学総合研究所，2015年），「ラインホルド・ニーバーの愛の理解——犠牲愛と相互愛の関係を通して」（『青山学院高等部研究報告』第36号，青山学院高等部，2015年）。

谷口 隆一郎 たにぐち・りゅういちろう

1961年鹿児島県伊佐市生まれ。アムステルダム自由大学哲学大学院博士課程卒業（Vrije Universiteit Amsterdam）。Ph.D.（哲学博士）。キリスト教学研究所（Institute For Christian Studies）大学院哲学修士課程（M.Phil.F.）単取得退学。ウェスト・ヴァージニア大学経済学大学院修士課程卒業（West Virginia University, M.A.）。キリスト教学研究所大学院研究助手，一般財団法人昭和経済研究所研究員，聖学院大学総合研究所助教授，聖学院大学政治経済学部准教授を経て，同政治経済学部政治経済学科教授。政治経済学科長・コミュニティ政策学科長。専門領域は，哲学・倫理学・政治哲学・公共哲学の隣接領域。

〔著書〕*Liberalism and Its Metaphysical Difference: A Critique of the Ground of F. A. von Hayek's Political Philosophy*（VU University Press, 1998），『横超の倫理——ローティ，ハイエク，シンガーを越えて』（春風社，2014年），『コミュニティ政策研究の課題』（編著，三恵社，2010年）など。

土方 透 ひじかた・とおる

1956年東京都生まれ。聖学院大学政治経済学部教授。中央大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（社会学）。Düsseldorf大学哲学部客員教授。政治社会学会理事。Soziale Systeme:

Zeitschrift für soziologische Theorie 学術顧問。専門は社会学。

〔著書〕 *Das positive Recht als soziales Phänomen*, Duncker & Humblot, 『法という現象——実定法の社会学的解明』(ミネルヴァ書房), 『現代社会におけるポスト合理性の問題——マックス・ヴェーバーの遺したもの』(編著, 聖学院大学出版会), 『宗教システム／政治システム——正統性のパラドクス』(編著, 新泉社), 『ルーマン——来るべき知』(編著, 勁草書房), *Riskante Strategien: Beiträge zur Soziologie des Risikos* (Hrsg. Toru Hijikata u. Armin Nassehi) Westdeutscher Verlag, 『リスク——制御のパラドクス』(共編著, 新泉社) ほか。